



空気環境を快適に保つエコカラットの性能を向上させてリニューアル



LIXIL では、空気清浄力をパワーアップしたエアクリーニングウォール「エコカラット」に、布地柄をミックスした新デザイン「エコカラット キルト」と、ガラスを散りばめた色鮮やかなデザインパッケージの新デザイン「エコカラット デザインパッケージ ガラスプラン」を追加し、INAXブランドから2015年2月2日より発売します。従来品と比べ吸放湿量が30%増加しました。その吸放湿量は珪藻土の5~6倍、調湿壁紙の25倍以上(当社実験比)になります。また、介護臭軽減率、トルエン低減率が3倍となり、臭いや有害物質の脱臭・低減効果も向上しています。新発売の「キルト」を含めエコカラットは全18商品の豊富なバリエーションとなり、インテリアのアクセントとして、玄関からリビング・寝室・子供部屋まで自由なコーディネートをお楽しみいただけます。また施工性が良くリフォームにも使いやすいデザインパッケージには、いままでにないガラス素材を取り入れた「ガラスプラン」を追加し、多彩な全84プランからお選びいただけるようになりました。

情報提供: LIXIL

フラット35の21~35年最低融資金利1.37%、過去最低を更新

住宅金融支援機構は2日、全期間固定型の民間提携住宅ローン「フラット35」における2月の金利水準を公表した。それによると、融資期間21年~35年の最低融資金利が年1.37%となり、過去最低水準を更新した。7ヵ月連続で低下が続いている。また、20年以下の最低融資金利も年1.1%と7ヵ月連続で低下した。補正予算案が、近く国会で成立する見通しで、フラット35Sが適用されると最長10年間、金利が0.6%引き下げられる。この影響で同機構コールセンターへの問い合わせ件数が12月1ヵ月間の件数と比べて4倍に増えた。

情報提供: 住宅産業新聞

セイキ販売、ドアの指はさみ防ぐ便利グッズを発売

セイキはさまんぞう



セイキ販売はこのほど、室内ドアの指はさみ防止商品「指はさまんぞう」を発売した。ドアが閉じる側には巻き取り式のスクリーンを、ドアが開く丁番側には固定式のスクリーン生地を設置することで、幼児の指が入り込むのを防ぐアイテム。両面テープと釘だけで簡単に取り付け可能で、子どもの成長につれ不要になった際には取り外せる。設置跡が目立ちにくい。2種類(巻き取り式・固定式)のスクリーンが1セットで、高さは1200ミリ。スクリーン生地はベージュとブラウンの2色。1万2500円。

情報提供: 新建ハウジング

住宅ローン、利下げ競争過熱 金融庁が緊急調査

住宅ローンの顧客争奪戦が激化している	
2月の金利を過去最低に	
3メガバンク	10年固定を0.05%下げて1.1%に
三井住友信託銀行	10年固定を0.05%下げて0.85%に
住宅金融支援機構	フラット35(返済21~35年)の最低金利を1.37%に
条件付きで金利優遇	
三菱東京UFJ銀行	顧客女性の妊娠時に金利を1年間0.2%下げ
りそな銀行	ネット経由での借り換えに金利下げ
ソニー銀行	頭金が購入額の1割以上なら金利0.05%下げ
福岡びき信金	子どもの数に応じて金利を引き下げ
金利以外の付帯サービス	
新生銀行	家事代行と病児保育をセットに
イオン銀行	イオン系のスーパーでの買い物か5%割引
住信SBIネット銀行	がんなど8大疾病保障の保険料を銀行負担

(注)金利は原則、最優遇金利

住宅ローン金利の引き下げ競争が過熱している。長期金利の指標となる10年物国債金利が急低下し、三菱東京UFJ銀行など大手は2月の金利を過去最低の水準に下げた。有力な融資先の乏しい地方銀行や信用金庫も低い金利での融資に前のめりで、採算割れのリスクもある。金融庁は過当競争を懸念して各行が適切にリスク管理しているか緊急調査を始めた。2月の住宅ローン金利は、主力の10年固定型を三菱UFJと三井住友、みずほの3メガバンクが0.05%下げて年1.1%、三井住友信託銀行は0.05%低い0.85%とした。いずれも2ヵ月連続で過去最低を更新する。住宅金融支援機構も2日、長期固定型の「フラット35」の最低金利が0.1%低い1.37%になると発表した。住宅ローンのリスク管理が甘くなっている可能性があるとして、金融庁は1月から大手銀行や一部の地方銀行を対象に緊急調査に乗り出した。07年度以降の住宅ローンの貸出額や平均金利、損失率の推移などを回答するように求めた。貸し出した個人の年収に占める返済額の割合なども調査対象だ。金利が反転した際に、収益を確保できる見通しがあるかも確認する。

情報提供: 日本経済新聞

リチウムイオン蓄電システムの壁掛けタイプを発売

日立マクセルは、壁掛けタイプのHEMS対応・屋内用リチウムイオン蓄電システム「エナジーステーション タイプH」を2月4日より受注開始します。マクセルは昨年8月、本体の厚さ130mmを実現した世界最小・最軽量のHEMS対応蓄電システム「エナジーステーション タイプC」の受注を開始しました。室内の限られたスペースにも横置きで設置可能なコンパクトサイズで、マンション、住宅、小規模オフィスなどでの利用が広がっています。また、家庭やオフィスでは壁への取り付けニーズもあり、このたび受注を開始する「エナジーステーション タイプH」は、それに応えたモデルです。厚さ155mm、質量約30kgのコンパクトサイズで、専用の取り付け金具を同梱し、壁掛け設置を可能にしました。蓄電容量は1.4kwhで充電時間は約6時間である。法人向けの販売はマクセルおよび、日立コンシューマ・マーケティングが担当する。

情報提供: 日立マクセル